

## 【2016年度循環器内科業績】

### 英語論文

1. Inazumi H, Koyama S, Tanada Y, Fujiwara H, Takatsu Y, Sato Y. Prognostic significance of changes in cystatin C during treatment of acute cardiac decompensation. J Cardiol 2016;67:98-103.
2. Nakayama H, Koyama S, Kuragaichi T, Shiba M, Fujiwara H, Takatsu Y, Sato Y. Prognostic Value of Rising Serum Albumin During Hospitalization in Patients With Acute Heart Failure. Am J Cardiol 2016;117:1305-9.
3. Sato Y, Minatoguchi S, Nishigaki K, Hirata KI, Masuyama T, Furukawa Y, Uematsu M, Yoshikawa J, Otsuji S, Iida M, Fujiwara H. Results of a Prospective Study of Acute Coronary Syndrome Hospitalization After Enactment of a Smoking Ban in Public Places in Hyogo Prefecture Comparison With Gifu, a Prefecture Without a Public Smoking Ban.” Circ J. 2016 Nov 25;80(12):2528-2532.

### 国際学会

1. Fukuhara R. LAD CTO case with IVUS guided loose tissue tracking TCTAP2016 2016 4 28 Seoul
2. Miyazaki Y, Yoshitani K, Yamamoto K, Ikeda S, Tsuji S, Hotta K, Miyata A, Kuragaichi T, Shiba M, Nakayama H, Kobayashi T, Shimizu Y, Saga S, Kurozumi Y, Fukuhara R, Taniguchi R, Toma M, Miyamoto T, Takatsu Y, Sato Y. Vein of Marshall Ethanol Infusion Prevents Recovery of Mitral Isthmus Conduction CARDIOSTIM-EHRA EUROPACE 2016 2016 6 10 France-Nice
3. Yoshitani K, Yamamoto K, Miyazaki Y, Shimizu Y, Fukuhara R, Taniguchi R, Toma M, Miyamoto T, Takatsu Y, Sato Y. “Ethanol infusion in the vein of marshall as a salvage therapy in persistent atrial fibrillation patients undergoing mitral isthmus ablation” ESC congress 2016 2016 8 30 Roma
4. Kuragaichi T, Miyamoto T, Ikeda S, Yamamoto K, Miyazaki Y, Miyata A, Hotta K, Tsuji S, Nakayama H, Shiba M, Nishimoto Y, Kobayashi T, Shimizu Y, Saga S, Kurozumi Y, Fukuhara R, Yoshitani K, Taniguchi R, Toma M, Kita Y, Fujiwara H, Sato Y. Should we evaluate insulin resistance as coronary risk on daily clinical practice? ESC congress 2016 2016 8 30 Roma
5. Nishimoto Y, Fukuhara R, Miyata A, Saga S, Sato Y, Takatsu Y, Fujiwara H. Bioresorbable Polymer Everolimus-Eluting Stents Cause Entrapment of Intravascular Ultrasound CCT2016 2016 10 21 Kobe
6. Tsuji S, Koyama S, Taniguchi R, Fujiwara T, Fujiwara H, Sato Y. Cachexia assessed by Branched-chain amino acids and Skeltal Muscle Index in chronic stable heart failure patients 9th Cachexia Conference 2016 12 10-11 Berlin
7. Sato Y. Outpatient Management of Elderly Heart Failure. International Society of Cardiomyopathy and Heart Failure Congress 2016. 2016 12 3 Kyoto

### 書籍

1. 佐藤幸人：エキスパートが現場で明かす 心不全診療の極意（佐藤幸人企画編者）南山堂 2016.3
2. 佐藤幸人：ここが知りたい 急性心不全の救急・集中治療管理（佐藤幸人編者）中外医学社 2016.3
3. 佐藤幸人：心不全×不整脈（編著）メディカ出版 2016.9

## 日本語論文・原稿

1. 谷口良司：心臓リハビリテーションの開始にあたって注意すべき点は何か？（「エキスパートが現場で明かす 心不全診療の極意」P70-75 南山堂）2016.3
2. 清水友規子、吉谷和泰：どういった患者にアブレーションを行う？「エキスパートが現場で明かす 心不全診療の極意」P38-42 南山堂）2016.3
3. 黒住祐磨：重症心不全患者に栄養療法は必要か？（「エキスパートが現場で明かす 心不全診療の極意」P116-120 南山堂）2016.3
4. 佐藤幸人：終末期心不全（「急性心不全の救急・集中治療管理」P410-416 中外医学社）
5. 谷口良司：急性心不全における急性期心臓リハビリテーション（「急性心不全の救急・集中治療管理」P370-382 中外医学社）2016.3
6. 福原怜：CS4:急性冠症候群（「急性心不全の救急・集中治療管理」P320-326 中外医学社）2016.3
7. 黒住祐磨：病院関連肺炎（HAP）、人工呼吸器関連肺炎（VAP）予防（「急性心不全の救急・集中治療管理」P350-357 中外医学社）2016.3
8. 佐藤幸人：循環器疾患患者への減塩指導：すぎたるは及ぼざるがごとしか？（「循環器内科」79(3)169-172,2016 科学評論社）2016.3
9. 佐藤幸人：BNPなどのバイオマーカーをどう活かすか？（「右心不全を織り評価して治療に活かす」P55-57 文光堂）2016.4
10. 佐藤幸人：バイオマーカー（「ICUとCCU」40(2)85-92,2016 医学図書出版）2016.4
11. 佐藤幸人：薬剤（「HEART nursing」29(4)41-44,2016メディカ出版）2016.4
12. 谷口良司：フレイル！心リハの視点から（「HEART nursing」29(4)93-109,2016 メディカ出版）
13. 佐藤幸人：心不全外来管理における多職種管理：水分、塩分管理を中心に（「Fluid Management Renaissance」2016；2；14-21 メディカルレビュー社）2016.6
14. 福原怜、藤原久義：冠動脈疾患における待機的PCIのガイドライン（「日本臨床増刊号最新冠動脈疾患学(上)」Vol74 Suppl4. 2016:347-352 日本臨牀社）2016.6
15. 佐藤幸人：慢性心不全多職種チーム医療の重要性（「循環器内科」2016；79（6）；561-567 科学評論社）2016.7
16. 黒住祐磨、大野暢久、植野剛、小林泰士、佐賀俊介、福原怜、松本優、佐藤幸人：経皮的心肺補助装置の早期導入により救命できた閉塞性増帽弁位血栓弁の1例（「日本集中治療医学会雑誌」2016;23:413-4）2016.7
17. 佐藤幸人：慢性心不全を予防する（「Heart View」2016;8:62-67 メジカルビュー社）2016.7
18. 佐藤幸人：外来（「心臓」2016;7:718-724 株式会社日本医学出版）2016.7

19. 佐藤幸人：2.高齢者心不全管理におけるチーム医療（「Geriatric Medicine(老年医学)」2016;57:653-655 株式会社ライフ・サイエンス）2016.8
20. 佐藤幸人：心不全におけるチーム医療の必要性（「薬学雑誌」2016;136:1117-1120 法益社団法人日本薬学会）2016.8
21. 佐藤幸人：緩和ケアの不整脈改善作用の効果（「心不全×不整脈」P267-273 メディカ出版）
22. 蔵垣内敬、佐藤幸人：急性心不全における頻脈の管理（ジゴキシン、アミダオロン、ランジオロール）（「心不全×不整脈」P168-175 メディカ出版）
23. 谷口良司：不正脈と心臓リハビリ・運動療法（「心不全×不整脈」P203-210 メディカ出版）
24. 黒住祐磨：致死性不整脈の救急治療（「心不全×不整脈」P176-182 メディカ出版）
25. 佐藤幸人：日本心不全学会「高齢心不全患者の治療に関するステートメント」執筆協力者 2016.10
26. 佐藤幸人：心不全チームの作り方（「CARDIAC PRACTICE」2016;27:23-26 株式会社メディカルレビュー社）2016.10
27. 佐藤幸人：血液マーカー（「これだけは知っておきたい 循環管理 -研修医からの質問323-」2016；28；e36-e41 株式会社総合医学社）2016.12
28. 佐藤幸人：みんなで考える心不全チーム医療（「大津市医師会誌」2016；39；P10-13）  
2016.12
29. 佐藤幸人、鷺田幸一：どこへ向かう？高齢者心不全のチーム医療（「Heart nursing」2017;30:1:92-95 メディカ出版）2016.12
30. 佐藤幸人：高齢者に対する心不全チーム医療の考え方（「臨床医のための循環器診療」NO.25(P20-22) 株式会社学樹書院）2016.12
31. 佐藤幸人：心不全患者におけるリラキシン（「医学のあゆみ 循環器薬物療法 UPDATE」2016:259:P1509-1513 医歯薬出版株式会社）2016.12
32. 佐藤幸人：日本脳卒中学会 日本循環器学会「脳卒中と循環器病克服5カ年計画 ストップCVD(脳心血管病) 健康長寿を達成するために」執筆協力者 2016.12

## 国内学会

1. Kuragaichi T, Miyamoto T, Ikeda S, Yamamoto K, Miyazaki Y, Miyata A, Hotta K, Tsuji S, Nakayama H, Shiba M, Nishimoto Y, Kobayashi T, Shimizu Y, Saga S, Kurozumi Y, Fukuhara R, Yoshitani K, Taniguchi R, Toma M, Kita Y, Fujiwara H, Sato Y. Should we evaluate insulin resistance as coronary risk on daily clinical practice? 第80回日本循環器学会学術集会  
2016 3 18 仙台
2. 奥立大樹、辻修平、宮本忠司、蔵垣内敬、北祥男、谷口良司、当麻正直、鷹津良樹、

- 藤原久義、佐藤幸人。 労作時呼吸困難から発見された巨大左房粘液腫の1例 第211回内科学会近畿地方会 2016 3 26 大阪
3. 池田真也、蔵垣内敬、宮本忠司、鷹津良樹、藤原久義、佐藤幸人。 たこつぼ型心筋症に高度左室－大動脈圧較を繰り返した1例 第211回内科学会近畿地方会 2016 3 26 大阪
  4. 宮田昭彦、谷口良司、福原怜、吉谷和泰、当麻正直、宮本忠司、北祥男、鷹津良樹、藤原久義、佐藤幸人。 悪性腫瘍が背景にある深部静脈血栓症に対してNOACが無効であった2例 第211回内科学会近畿地方会 2016 3 26 大阪
  5. Nakayama H, Sato Y The Prognostic Value of Serum Albumin Changes in Patients with Acute Heart Failure 第80回日本循環器学会学術集会 2016 3 20 仙台
  6. Toma M, Kobayashi T, Nakayama H, Sato Y. Initial results of emergent TEVAR for retrograde type A and complicated type B acute aortic dissection in our hospital CVIT2016 2016 7 7 東京
  7. Toma M, Nakayama H, Kobayashi T, Sato Y. Impact of intraoperative occlusion of side-branches for prevention of type II endoleak before stentgrafting for AAA CVIT2016 2016 7 8 東京
  8. 池田真也、小林泰士、当麻正直、鷹津良樹、藤原久義、佐藤幸人、渡辺謙太郎、岡田達治、大野暢久。 ステロイドにて炎症は改善したが、急速な瘤径拡大をきたし、debranch TEVARを行った炎症性胸部大動脈瘤の1例 第119回日本循環器学会近畿地方会 2016 7 16 大阪
  9. Miyazaki Y, Yoshitani K, Yamamoto K, Ikeda S, Tsuji S, Hotta K, Miyata A, Kuragaichi T, Shiba M, Nakayama H, Kobayashi T, Shimizu Y, Saga S, Kurozumi Y, Fukuhara R, Taniguchi R, Toma M, Miyamoto T, Takatsu Y, Sato Y. Vein of Marshall Ethanol Infusion Prevents Recovery of Mitral Isthmus Conduction 第63回日本不整脈心電学会学術大会 2016 7 17 札幌
  10. Kuragaichi T, Sato Y, Shiba M, Nakayama H. The Relationship Between Urinary Liver-type Fatty Acid Binding Protein Levels and Renal Function Markers in Acute Decompensated Heart Failure 第20回日本心不全学会学術集会 2016 10 7 札幌
  11. Koyama S, Kuragaichi T, Sato Y, Kuwabara Y, Horie T, Baba O, Kimura T, Ono K. Changes and Physiological Meanings of Serum microRNA during Therapeutic Course of Acute Heart Failure 第20回日本心不全学会学術集会 2016 10 7 札幌
  12. Fukuhara R. Tips and tricks of a thrombus aspiration catheter 第27回CVIT近畿地方会 2016 10 8 大阪
  13. 西本裕二、堀田幸造、当麻正直、福原怜、吉谷和泰、谷口良司、宮本忠司、北祥男、鷹津良樹、藤原久義、佐藤幸人、渡辺謙太郎、岡田達治、大野暢久、小林大輔。 血管内超音波が診断に有効であった膝窩動脈閉塞の1例 第27回CVIT近畿地方会 2016 10 8 大阪
  14. 中山寛之、当麻正直、小林泰士、山口史隆、宮川紗和、池田真也、山本恭子、辻修平、堀田幸造、宮田昭彦、宮崎裕一郎、蔵垣内敬、柴昌行、西本裕二、佐賀俊介、清水友規子、黒住祐磨、福原怜、吉谷和泰、谷口良司、宮本忠司、北祥男、藤原久義、鷹津

良樹、佐藤幸人、加藤おと姫、渡辺謙太郎、村山友梨、植野剛、吉澤康祐、岡田達治、大野暢久、藤原慶一。 当院におけるStanford A型急性大動脈解離に対するカテーテル治療医の役割 第27回CVIT近畿地方会 2016 10 8 大阪

15. Nagao K, Yukawa H, Shimamura K, Nishiga M, Horie T, Ono K, Sato Y, Inada T, Makita T, Tanaka M. Relationship between Systemic Remodeling of Extracellular Matrix(ECM) and Clinical Course of the Diseases in Heart Failure 第20回日本心不全学会学術集会 2016 10 9 札幌
16. Shiba M, Sato Y, Tsuji S, Kuragaichi T, Nakayama H, Fujiwara H, Takatsu Y. The Similar Prognosis Between Carperitide and Nitrates in Patients with Acute Heart Failure 第20回日本心不全学会学術集会 2016 10 9 札幌
17. 蔵垣内敬、宮本忠司。 経食道心エコーで指摘し得なかった疣贅の検出に心臓CTが有用であったPVEの2症例 第122回日本循環器学会近畿地方会 2016 11 26 大阪
18. 堀田幸造、当麻正直。 深部静脈血栓症を契機に診断された多発仮性動脈瘤形成を伴う高安動脈炎の1例 第122回日本循環器学会近畿地方会 2016 11 26 大阪
19. 宮崎裕一郎、吉谷和泰、山口史隆、宮川紗和、池田真也、山本恭子、宮田昭彦、堀田幸造、辻修平、中山寛之、柴昌行、蔵垣内敬、小林泰士、西本裕二、佐賀俊介、清水友規子、黒住祐磨、福原怜、谷口良司、当麻正直、宮本忠司、鷹津良樹、佐藤幸人 発作性心房細動再発例に対するカテーテルアブレーション再セッションにて分界稜への通電が有効であった一例 カテーテルアブレーション関連秋季大会2016 2016 10 28 博多

#### シンポジウム・セミナー・研究会等

(佐藤幸人)

1. 「心不全患者の入退院回避に必要なチーム医療の知識」 第2回心不全の体液管理を考える会(岡山ろうさい病院依頼) 2016 1 22 岡山
2. 「心不全患者の入退院回避に必要なチーム医療の知識」 第4回SHARE-CHF (東京ベイ・浦安市川医療センター依頼) 2016 1 30 千葉
3. 「心不全患者の入退院回避に必要なチーム医療の知識」 9th SPHERE (昭和大学横浜市北部病院依頼) 2016 2 4 横浜
4. 「心不全チーム治療 UP-TO-DATE」 第18回 石川県心臓リハビリテーション研究会(やわたメディカルセンター依頼) 2016 2 13 石川
5. 「心不全の治療の最近の話題」 第9回心不全の病診連携を考える会(朝田医院内科依頼) 2016 2 25 尼崎
6. 「多職種で考える心不全治療」(国保日高総合病院依頼) 日高地区循環器疾患勉強会 2016 2 26 和歌山
7. 「高感度トロポニンTを用いた非ST上昇型心筋梗塞の早期診断(ESC2015診断アルゴリズムについて)」 第80回日本循環器学会 学術集会 2016 3 18 仙台(ファイアサイド

セミナー)

8. 「循環器疾患予防のための包括的指導の重要性」 ジャディアンス発売1周年記念学術講演会 2016 4 28 西宮
9. 「心不全とチーム医療」 第3回北河内慢性心不全カンファレンス (関西医科大学 香里病院依頼) 2016 5 14 大阪
10. 「BNPやNT-Pro-BNPはどうですか？」 The Echo Live 2016 2016 5 14 (セミナー)
11. 「心血管病変予防戦略」 第4回阪神循環器チーム医療研究会-病院から病診連携、在宅までを考える- 2016 5 26 尼崎
12. 「心不全チーム医療について」 心不全チーム医療セミナー (草津総合病院依頼) 2016 5 27 滋賀
13. 「一般臨床の視点から見た急性心不全、慢性心不全最近の話題」 心不全治療カンファレンス (久留米大学医学部依頼) 2016 6 9 久留米
14. 「地域で診る心不全患者」 京都南部心不全講演会 (京都岡本記念病院依頼) 2016 6 11 京都
15. 「心不全のチーム医療」 第22回道北臨床心臓研究会 (市立旭川病院依頼) 2016 6 22 北海道
16. 「心不全チーム医療」 高松心不全チーム医療セミナー(香川県立中央病院) 2016 6 16 高松
17. 「心不全患者の入退院回避に必要なチーム医療の知識」 心不全チーム医療カンファレンス (慶應義塾大学医学部依頼) 2016 6 24 東京
18. 「心不全のチーム医療」 第2回 ハートチーム・カンファレンス (大阪警察病院依頼) 2016 6 25 大阪
19. 「チームで取り組む心不全治療」 第1回甲府城南病院地域連携心疾患談話会 (甲府城南病院依頼) 2016 7 1 甲府
20. 「重症心不全におけるうっ血症状の考え方」 道後臨床心不全カンファレンス (愛媛大学医学部附属病院依頼) 2016 7 2 松山
21. 「心不全チーム医療～今後の社会的方向性について～」 中之島循環器フォーラム (関西電力病院依頼) 2016 7 7 大阪
22. 「心不全治療の話題 -チーム医療を含めて-」 第3回 東近江循環器カンファレンス (東近江総合医療センター依頼) 2016 7 14 滋賀
23. 「バイオマーカーを心疾患に活かすには ～高感度トロポニン測定に関する最新事情～」 Abbott Fair in 姫路 2016 (姫路医療センター依頼) 2016 7 22 姫路
24. 「心不全のチーム医療」 第118回仙台心臓血管研究会 -第30回先進循環器研究コアセンター研究会- (東北大学病院依頼) 2016 7 27 仙台
25. 「慢性心不全患者における外来点滴静注による入院回避の工夫」 第10回心不全の病

診連携を考える会 2016 7 28 尼崎

26. 「チーム医療は時代とともに」 Daiichi-sankyo循環器フォーラム2016【心不全Up-to-date】 2016 7 30 東京
27. 「心不全チーム医療」日本循環器学会 第11回コメディカルセミナー 2016 7 31 東京
28. 「心不全チーム医療 今後の方向」心不全チーム医療を考える会in上田（佐久総合病院 佐久医療センター依頼）2016 8 26 長野
29. 「心不全の病態生理と診断及び治療」「慢性心不全患者の意思決定と在宅療養支援」平成28年度 慢性心不全看護認定看護師教育課程コース（兵庫県看護協会依頼）2016 9 5 神戸
30. 「心不全チーム医療」オープンセミナー講師（兵庫県立柏原病院依頼）2016 9 8 丹波
31. 「心不全のチーム医療 ～高齢化社会に向けて～」 第36回福岡虚血性心臓病懇話会（九州中央病院依頼）2016 9 9 福岡
32. 「みんなで考える心不全チーム医療」大津ハートネットワーク研究会学術講演会（滋賀病院依頼）2016 9 17 大津
33. 〈関西〉末期心不全の緩和ケア 日本心臓病学会 地域活動委員会企画 JCCケースカンファレンス 第64回日本心臓病学会学術集会 2016 9 24 東京（ミニレクチャー）
34. エビデンスから考察する心疾患患者の食事指導 第64回日本心臓病学会学術集会 2016 9 24 東京（ランチョンセミナー）
35. BNP Measurement in Patients with Right Heart Failure 第20回日本心不全学会学術集会 2016 10 8 札幌（パネルディスカッション）2016 10 7 札幌
36. 心不全における包括的栄養指導 第20回日本心不全学会学術集会 2016 10 8 札幌（シンポジウム）
37. 心不全におけるサルコペニア、フレイル 第20回日本心不全学会学術集会 2016 10 8 札幌（シンポジウム）
38. Cardiac Biomarkerの最新状況～トロポニンの高感度測定によってみえてくるもの～ 第20回日本心不全学会学術集会 2016 10 9（ランチョンセミナー）
39. 「心不全生活指導とチーム医療」心不全治療を考える会（九州大学依頼）2016 10 12 福岡
40. 「心不全チーム医療の構築」心不全ASVリサーチ・フォーラム 第4回学術集会 2016 10 22 東京
41. 「心不全生活指導とチーム医療」第3回筑紫心不全地域医療連携カンファレンス（福岡大学筑紫病院依頼）2016 11 2 福岡
42. 「循環器バイオマーカー最新知見」Roche 循環器セミナー 2016 11 3 神戸
43. 「心不全チーム医療最前線」心不全ハートチームセミナー（筑波大学依頼）2016 11 4 茨城

44. 「心不全生活指導とチーム医療」 第12回心不全と水利尿研究会（自治医科大学附属さいたま医療センター依頼）2016 11 9 さいたま
45. 「心不全生活指導とチーム医療」 第7回志多榛原心不全治療学術講演会（市立島田市民病院依頼）2016 11 18 静岡県
46. 「高齢者心不全治療の話題 -チーム医療を含めて-」 加古川循環器セミナー（県立加古川医療センター依頼）2016 11 24 加古川
47. 「心不全チーム医療最前線」 山口県心不全ハートチーム医療研究会（山口大学大学院依頼）2016 11 25 山口
48. 「心不全生活指導とチーム医療」 第4回東葛心不全治療研究会（東京慈恵会医科大学附属柏病院依頼）2016 11 30 千葉
49. 「心不全治療の話題-チーム医療を含めて-」 垂水区循環器懇話会（神戸掖済会病院依頼）2016 12 1 神戸
50. 「心不全チーム医療と生活指導」 循環器疾患を合併した糖尿病治療戦略とは（近畿大学医学部循環器内科依頼）2016 12 15 大阪

#### （宮本忠司）

1. 「総合医療システムにおける仮想化システムの現状」 第14回兵庫県県立病院学会 2016 9 10 神戸
2. 「地域包括ケアを見据えた循環器連携について」 第117回尼崎心疾患を語る会 2016 11 23 尼崎

#### （当麻正直）

1. 「PCI後の抗血小板療法おさらい」 第10回神戸PADワークショップ 2016 1 15 神戸
2. 「大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療 ～TAVI～」 第1回循環器診療地域連携フォーラム 2016 7 21 尼崎
3. 「非専門医のための循環器診療アップデート」 最新の糖尿病治療を考える会 2016 9 1 尼崎
4. 「島津12inchはなぜ良いのか？」 CCT2016 2016 10 20 神戸
5. 佐賀俊介、当麻正直。「御紹介いただいたTAVI症例の経過報告」 第118回尼崎心疾患を語る会 2016 11 12 尼崎

#### （谷口良司）

1. 「心臓リハビリテーション開設後～次の一手～『実録』」 心不全治療を考える会 2016 2 4 大阪
2. 「循環器内科医である私がCOPDを見るようになった訳」 スピオルト発売記念学術講



演会 2016 2 18 尼崎

3. 柴昌行、谷口良司、池田真也、山本恭子、辻修平、堀田幸造、宮崎裕一郎、宮田昭彦、蔵垣内敬、中山寛之、小林泰士、佐賀俊介、清水友規子、黒住祐磨、福原怜、吉谷和泰、当麻正直、宮本忠司、北祥男、鷹津良樹、佐藤幸人。「著名な冠動脈拡張を合併した急性冠症候群の一例」 第3回K-PCIカンファレンス 2016 3 4 大阪
4. 「心臓リハビリテーションとは」 心疾患勉強会 2016 6 23 神戸
5. 「心臓リハビリってなんですか？」 第7回大和ハートの会 2016 8 10 奈良
6. 「心臓リハビリテーションの新規開設について」 第10回フクダ電子 心臓リハビリテーション開設セミナー 2016 10 16 高松
7. 「心臓リハビリと不整脈について」 心疾患勉強会 2016 10 20 西宮
8. 西本裕二、福原怜、宮田昭彦、宮川紗和、山口史隆、池田真也、山本恭子、辻修平、堀田幸造、宮崎裕一郎、蔵垣内敬、柴昌行、中山寛之、小林泰士、清水友規子、佐賀俊介、黒住祐磨、吉谷和泰、谷口良司、当麻正直、宮本忠司、北祥男、鷹津良樹、佐藤幸人。「Bioresorbable polymer everolimus-eluting stent cause entrapment of intravascular ultrasound」 第4回K-PCIカンファレンス 2016 11 11 大阪

(吉谷和泰)

1. 「当院における最新の不整脈治療」 第1回循環器診療地域連携フォーラム 2016 7 21 尼崎

(福原怜)

1. 「心原性ショックを呈した左主幹部ACSの一例」 Ultimaster症例検討会 2016 3 3 京都
2. 「New Generation DES SYNERGY」 Care Conference of Complex lesion 2016 4 14 大阪
3. 「PCI後の抗凝固療法」 Kansai Physiological Intervention Conference 2016 4 15 大阪
4. 「市中病院でカテーテル道に邁進した9年～Complex PCIに対する取り組み～」明日からの循環器診療を考える会 2016 6 10 大阪
5. 「Effectiveness of GuideLiner as a support device in CTO PCI」 CTO club 2016 2016 6 18 名古屋
6. Video Live 「高度屈曲蛇行と石灰化を伴ったRCA症例」 第14回 兵庫ライブデモンストレーション 2016 6 25 神戸
7. 「SYNERGY ～One step ahead of a Premier～」 第14回 兵庫ライブデモンストレーション 2016 6 25 神戸
8. 「安心して命を預けて貰うために我々がすべきこと」 第2回 TACR循環器チーム医療研究会 2016 6 25 尼崎
9. 「循環器領域における抗血栓療法」 Pharmacist Seminar in 尼崎 2016 8 26 尼崎
10. 「高度屈曲蛇行を伴ったRCA PCIの際にRota burrの断裂を来した一例」 第56回 京

滋奈良Interventional Cardiology研究会 2016 9 10 京都

11. 堀田幸造、福原怜。「外傷性心肺停止と心肺停止後外傷」 第11回尼崎循環器救急研究会 2016 11 10
12. 宮田昭彦、福原怜。「当院のDVT合併症に対する取り組み」 DVT Expert Meeting 2016 10 5
13. 西本裕二、福原怜。「Group discussion case: 左冠動脈主幹部病変の一例」 Hanshin YES Club Meeting 2016 11 5 大阪
14. 「冠動脈インターベンション」 CoMET206 2016 11 13 草津
15. 「虚血性心疾患患者に対する脂質管理」 Lipid Care Forum 2016 11 24 西宮
16. 柴昌行、福原怜。「covered stentにDESを併用し冠動脈瘤を治療した一例」 第134回コロナリーの会 2016 12 5 神戸

#### ニュースレターなどへの掲載

(佐藤幸人)

1. 慢性心不全を一次予防する生活指導とは 日経メディカルオンライン 2016 1 12
2. 心不全の経口利尿薬はフロセミドかトラセミドか? /ASCEND-HFサブ解析結果より 日経メディカルオンライン 2016 2 5
3. 急性心不全の低栄養は総死亡リスク 日経メディカルオンライン 2016 4 26
4. 心性浮腫における利尿薬の選び方、使い方 日経メディカルCadetto 2016 No.2 2016 7 7
5. 「私の一曲」 日本医事新報 No.4811(7月2週号) (P.73) 2016 7 9
6. 「心不全患者におけるカヘキシーの病態」 心不全ON-SITE NO.12(P.12-14) 2016 7
7. 「緩和ケアにおける心不全チーム医療」 HEART nursing 2016:29:12(P80) メディカ出版 2016 12

(谷口良司)

1. 心不全における体液貯留の治療を考える 大塚製薬株式会社 医薬関係者向け会員制Webサイト「eライブラリ」 2016.6